

そうだったのか! 通信

2016/10

Vol.1 プレーパークで遊ぶ 発行: 石神井・冒険遊びの会

子どもは毎日いろんなことを吸収していて、昨日できなかったことが今日できるようになったり、成長がめざましいですね。

幼児期は体と脳がもっとも発達する時期。いろんな刺激を受けて成長してほしい。

それには、外で体を動かして遊ぶのが一番です。外で遊ぶと室内より刺激が多く、習い事よりも自主的な遊びの方が自分で考えたり、体のさまざまな感覚を使います。

そして、「楽しい」と感じる時が一番、脳が育つ時。子どもがよろこんで遊ぶ遊びは、神経系を成長させ、脳を発達させます。

だから、子どもの好きなように思いきり遊ばせることがその子の発達を促す一番の方法なのです。

子どもは自分自身の発達に繋がることを本能で知っていて、自然にやっているのです。

プレーパークでは、楽しく遊びながらいろんな感覚をいっぱい使う。だから子どもの発達にすごくいいのです。

プレーパークで
あそびた〜い



ゆうちゃん



シブジャーレクパ星人
ソーダッダノカ君